



# 浪合村におけるフィールド活動

10年間のまとめ(その1)

—— '71 ~ '80 ——

東京医科大学社会医学研究会

---

---

## 目 次

- ☒ 10年間のまとめ発刊にあたって  
部 長 宮沢寿一郎…………… 1
- ☒ 浪合村活動の10年を終えて  
Haupt 長尾 和宏…………… 2
- ☒ 浪合村におけるフィールド活動  
10年間のまとめ——'71～'80——
- B. 寄生虫対策…………… 3
- C. 高血圧対策…………… 37
- D. 衛生統計…………… 67
- E. 医療・社会保険・衛生行政の推移…………… 107
- F. 産業経済の10年間の変化…………… 157
- 
-

## 浪合村活動の10年を終えて

Haupt 長尾 和宏

そもそもこのまとめは、2年前のHauptの安藤氏の提案から始まったものである。一つのフィールドで10年間という他に例をみない長期の活動をしていて、その評価を総括的に行なうことなしには、我々のこれからの活動もあり得ないし、また村に対しても無責任であるということで、作業に約2年を費した。また評価の観点も、単に寄生虫、高血圧といった点のみならず、衛生統計、医療保険、産業といった点にも置き、広く社会医学的な考察を試みようとしたことも特徴である。とはいえ、力量不足のため、個々の考察にせよ全体的な総括にせよ、決して十分なものではない。しかし10年間の活動の軌跡を多方面から統一的に示すことができ、これからの活動の礎石となり原動力となることは、大きな収穫であろう。

10年間も活動し、まだいったい何をするのかという意見もあるだろうが、まだ10年しかであり、私自身にとっては3年間であり、(長さの問題ではないが)まだ何もしていない(?)というのが卒直な感想である。継続か否かは別問題にして、村の行政にも目を向け、また村民との懇談会を通じて健康とは、健康意識とはを考え、それらを日本の医療全体に拡大して論ずる過程には、まだ多数の課題がある。

最後に、多くの御指導をいただいた、部長の宮沢教授をはじめとする顧問、OBの諸先生方と、我々の無理も快く聞いて下さった、村長さん、後藤正幸さん、後藤等さんをはじめとする役場の方々、ならびに、未熟な私達をいつも暖かく迎えて下さった浪合村の皆様に心から感謝申し上げます。